

分野別委員会運営要綱(平成26年8月28日日本学術会議第199回幹事会決定)の一部を次のように改正する。

改 正 後					改 正 前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
情報学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	情報学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
	情報学委員会ソフトウェア学分科会	1. 新たな計算や情報処理パラダイムの創成からソフトウェアシステム構築・運用技術の実践までにおける課題 2. ソフトウェアに関わる人材育成、制度、組織における課題 3. 課題解決に向けた研究と実践の方向性と方策に係る審議に関すること	25名以内の会員又は連携会員	(略)		情報学委員会ソフトウェア工学分科会	ソフトウェアの開発、利用、保守に関わる技術的課題の整理とその解決に向けての方策の審議に関すること	25名以内の会員又は連携会員	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則
この決定は、決定の日から施行する。

情報学委員会分科会の設置について（案）

分科会等名：ソフトウェア学分科会

1	所属委員会名	情報学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	高度で高信頼なソフトウェアを迅速に開発する技術は、情報通信産業の発展のみならず、将来の堅牢な社会インフラ維持管理、高度な医療や福祉の実現、斬新かつ付加価値の高い新たなものづくり産業やサービスの創成の基礎である。さらに、ソフトウェアは、学術的にも、高度な認識や制御機構の構築、脳情報処理の解明、人間を含むサイバーフィジカルシステム実現等に資する学際的な新たな学術パラダイム創成の基盤となるものであり、その発展に向けては、これまで以上に多様な視点、広範な議論が必要である。 そこで、「ソフトウェア学分科会」の名称の下、新たな計算や情報処理パラダイムの創成からソフトウェアシステム構築・運用技術の実践、更には、それらを支える人材育成、制度、組織をも対象として、工学的な視点からだけでなく、産官学を統合した幅広い視点、学際的・分野融合的な視点からソフトウェアに関する諸課題を審議し、世界をリードするソフトウェア学の研究と実践の方向を提言する。
4	審議事項	1. <u>新たな計算や情報処理パラダイムの創成からソフトウェアシステム構築・運用技術の実践までにおける課題</u> 2. <u>ソフトウェアに関わる人材育成、制度、組織における課題</u> 3. <u>課題解決に向けた研究と実践の方向性と方策</u>
5	設置期間	常設
6	備考	※名称、設置目的及び審議事項の変更 名称、設置目的及び審議事項を分科会の活動の現状に対応させる必要があるため。

(提案2)

【小委員会】

○委員の決定（新規1件）

（環境学委員会環境政策・環境計画分科会フューチャー・デザイン小委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
西 條 辰 義	一橋大学大学院経済学研究所教授	第一部会員
横 張 真	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
村 上 暁 信	筑波大学大学院システム情報系教授	連携会員

提案3～6は提言等関係のため、別添2～5参照。（提案7は別添なし。）

第16回アジア学術会議代表派遣及び招へい者

○日本学術会議代表

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
			計			
1	第16回アジア学術会議年次会合	5月30日 ～ 6月1日	3 日	コロンボ スリランカ	大西 隆 第三部会員 豊橋技術科学大学学長	アジア学術会議加盟国代表として参加するため
2	第16回アジア学術会議年次会合	5月30日 ～ 6月1日	3 日	コロンボ スリランカ	花本啓祐 第三部会員 東京大学大学院工学系研究科教授	基調講演者及びアジア学術会議理事会等に代表の一人として参加するため
3	第16回アジア学術会議年次会合	5月30日 ～ 6月1日	3 日	コロンボ スリランカ	吉野 博 第三部会員 東北大学総長特命教授	アジア学術会議事務局長として参加するため
4	第16回アジア学術会議年次会合	5月30日 ～ 6月1日	3 日	コロンボ スリランカ	小池 康博 特任連携会員 慶應義塾大学理工学部物理情報工学科教授	基調講演者として参加するため

○外国人招へい者

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
			計			
1	第16回アジア学術会議年次会合	5月30日 ～ 6月1日	3 日	コロンボ スリランカ	Dr. Malik Peiris Professor, University of Hong Kong (中国)	基調講演者として参加するため
2	第16回アジア学術会議年次会合	5月30日 ～ 6月1日	3 日	コロンボ スリランカ	Dr. Deepak T. Nair Associate Professor, Regional Center for Biotechnology (インド)	基調講演者として参加するため
3	第16回アジア学術会議年次会合	5月30日 ～ 6月1日	3 日	コロンボ スリランカ	Dr. Soon-chang Yoon Vice-President, The Korean academy of science and technology (KAST) (韓国)	特別セッション講演者として参加するため
4	第16回アジア学術会議年次会合	5月30日 ～ 6月1日	3 日	コロンボ スリランカ	Dr. Missaka P B Wijayagunawardane Professor, University of Peradeniya (スリランカ)	ジョイントプロジェクトワークショップ講演者として参加するため
5	第16回アジア学術会議年次会合	5月30日 ～ 6月1日	3 日	コロンボ スリランカ	Dr. Nanda Gunawardhana Professor, University of Peradeniya (スリランカ)	ジョイントプロジェクトワークショップ講演者として参加するため
6	第16回アジア学術会議年次会合	5月30日 ～ 6月1日	3 日	コロンボ スリランカ	Dr. G. R. A. Kumara Professor, University of Peradeniya (スリランカ)	ジョイントプロジェクトワークショップ講演者として参加するため